

**沖縄労働局**

監督課長

**平良 喜作**

一般社団法人沖縄県労働基準協会の皆さまにおかれましては、労働基準行政に特段のご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

このたび、4月1日付けで監督課長を拝命いたしました。県内の労働条件の向上に資するよう努めさせていただきますので、よろしくお願い申し上げます。

【潤染になれば 若夏になれば】拙稿がお目に留まる頃は、旧暦3月中旬でしょうか。私の故郷では、「うるずんに成りよらば（潤染になれば）、ばがなちに成りよらば（若夏になれば）、ゆしきだき栄りょうり（薄のように高く栄え）、いばんだき元りょうり（力芝草のように萌え栄え）、…」と唄い出す作業歌（ゆんた）があります。

さわやかな若夏の時季になり、新型コロナウイルス感染症についても、それぞれの職場の実情に合わせた対策を選びながら、コロナ後の又はコロナ前のような、活発な働き方を模索しながら、会員の皆さまにおかれても、県全体としても「くなつゆ（来る夏の豊穡）」を迎える準備の時機になっているのでしょうか。

【安心・安全な職場づくりと継続的な事業運営】会員の皆さまから「忙しくなった。」とお聞きするとき、これが活発な事業展開による嬉しい悲鳴であれば、私にも喜ばしいことですが、働く方々から同じ言葉をお聞きするとき、これが助けを求める声であれば、その事業の将来まで私は心配になってしまいます。

事業の継続的な発展を図る経営者の皆さまは、働く方々の賃金・労働時間・安全衛生など労働条件にも、目配りしていただいていることでしょうか。労働条件の向上は、働く方々の安心と安全の基礎であり、安心・安全な職場と安定的な人材確保は車の両輪であり、継続的な事業運営へ好循環をもたらすでしょう。

【ともに働き 思いを叶え 願いを実現】私の故郷の作業歌は、男女ともに働き、それぞれが栄え、豊かな実りをみんなで分け合う様子を唄い、「思たくとうかなしょうり（思いが叶いますように）、願たすにすなしょうり（願いが実現しますように）。」と締めます。みんなで取り組む安心・安全な働き方は、継続的な事業の発展と豊かな県民生活の実現につながるものと信じます。

会員の皆さまの末永いご繁栄をお祈りいたしまして、着任の挨拶とさせていただきます。

**沖縄労働局**

賃金室長

**小池 雅弘**

一般社団法人沖縄県労働基準協会並びに会員の皆様におかれましては益々のご清祥のことと御慶び申し上げます。

平素より労働行政、とりわけ労働基準行政に格別のご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

この度、4月1日付けで沖縄労働局労働基準部賃金室長を拝命いたしました小池と申します。どうぞよろしくお願い申し上げます。

さて、昨年10月6日に発効しました沖縄県最低賃金は33円アップの853円とかつてない上昇幅となりました。

最低賃金制度は労働者の生活の安定を保証するセーフティネットであり、当室をはじめ、各労働基準監督署等におきまして、定められた最低賃金額（沖縄県最低賃金、特定最低賃金）を労働者、使用者に引き続き遵守していただくよう周知、指導してまいります。

使用者におかれましては、適用される最低賃金額を御確認の上、事業場内の見やすい場所に掲示していただくなど労働者への周知くださいますようお願い申し上げます。

また、本年年初に厚生労働省HPに「賃金引上げ特設ページ」が開設され、地域・業種・職種ごとの平均的な賃金検索機能や賃金引上げを実施した企業の取り組み事例、業務改善助成金など支援策を紹介するページとなっております。物価高など厳しい状況が続いていますが、県内の人材需要がひっ迫することが予想される中、雇用の質の改善と生産性の向上、優秀な人材の確保定着のためにも「賃金引上げ特設ページ」を利活用いただき、賃上げに取組み下さるようお願い申し上げます。

貴協会並びに会員の皆様にご理解とご協力を賜りながら、沖縄県内の事業者、労働者がともに安心して働ける労働条件や環境の確保にお役に立てますよう尽力してまいります。

最後になりますが、貴協会並びに会員の皆様方の御繁栄と御健勝を祈念いたしまして着任の挨拶とさせていただきます。

**沖縄労働局**

健康安全課長

**梅澤 栄**

一般社団法人沖縄県労働基準協会並びに会員の皆様におかれましては益々ご清祥のことと御慶び申し上げます。

平素より労働行政、とりわけ労働基準行政に格別のご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

この度、4月1日付けで沖縄労働局労働基準部健康安全課長を拝命いたしました梅澤と申します。

さて、当課において所管する労働安全衛生法は「職場における労働者の安全と健康を確保するとともに、快適な職場環境の形成を促進すること」を目的としており、行政機関として法目的達成のため、様々な方策を推進しております。

しかし、沖縄における現状は①令和4年の労働災害発生状況は死亡者数こそ減少したものの（R3年12人から2人に※3月速報値）、休業4日以上死傷者数は倍増（R3年1,611人から3,154人に※3月速報値）し、②労働者の健康